

平成16年度再資源化預託金等特別会計収支予算書補正案の前提条件

(金額の単位:千円)

	予算書作成時		補正案作成時		補正額
	計上金額	前提条件	計上金額	前提条件	
〔収入の部〕 再資源化等預託金預り収入 (=期間中に自動車所有者が預託した再資源化等預託金の合計額)	154,860,000	台数 (補足説明1.参照) 新車購入時預託 約150万台 継続検査時等預託 約520万台 引取時預託 約100万台 合計 約770万台 平均単価 (補足説明2.参照) ASR・エアバッグ類・フロン類合計 2万円 装備率 (補足説明2.参照) エアバッグ装備率 100% エアコン装備率 100%	96,518,372	台数 (補足説明1.参照) 新車購入時預託 約170万台 継続検査時等預託 約740万台 引取時預託 約120万台 合計 約1030万台 平均単価 (補足説明2.参照) ASR 約6,300円(約6,300円) エアバッグ類 約2,200円(約1,200円) フロン類 約2,100円(約2,000円) 合計 約10,600円(約9,500円) 括弧表示は未装着車を含む単純平均単価 装備率 (補足説明2.参照) エアバッグ装備率 約53% エアコン装備率 約92%	58,341,628
情報管理預託金預り収入 (=期間中に自動車所有者が預託した情報管理預託金の合計額)	968,000	台数 「再資源化等預託金預り収入」と同じ 約770万台 情報管理料金 1台当たり 125円	1,337,613	台数 「再資源化等預託金預り収入」と同じ 約1030万台 情報管理料金 (主務大臣が認可したもの) 1台当たり 130円	369,613
再資源化預託金等特定資産運用収入 (=期間中に特定資産の運用で得られる収入)	20,000	年間利回り 0.6% (国債の5年債の水準を想定) 運用可能金額と運用期間 ・2月入金台数84万台に対応する168億円について1ヶ月運用 ・3月入金台数345万台に対応する694億円の1/3について1ヶ月運用	1,370	年間利回り 0.88% (運用計画(資料4)の参考資料6記載の評価指標利回りを引用) 運用可能金額と運用期間 ・日次で入金される資金を週1回程度の頻度で債券購入し、運用。 ・今期利払いが行われる既発債(約80億円)について3月22日まで運用。 新発債の利払いは翌年度、既発債の今年度の利払いは3月22日。	18,630
〔支出の部〕 再資源化等預託金払渡支出 (=期間中に自動車製造業者等に払い渡した預託金の合計額)	2,680,000	台数 (補足説明3.参照) 約13万台 平均単価 (補足説明2.参照) ASR・エアバッグ類・フロン類合計 2万円	140,931	台数 (補足説明3.参照) ASR 約1万台 エアバッグ装備車の台数 約1万台 エアコン装備車の台数 約2万台 平均単価 (補足説明2.参照) ASR 約6,000円 エアバッグ類 約2,000円 フロン類 約2,100円 合計 約10,100円	2,539,069
情報管理預託金払渡支出 (=期間中に情報管理センターに払い渡した預託金の合計額)	17,000	台数 「再資源化等預託金払渡支出」と同じ 約13万台 情報管理料金 1台当たり 125円	6,792	台数 (補足説明3.参照) 約5万台 情報管理料金 (主務大臣が認可したもの) 1台当たり 130円	10,208
再資源化預託金等特定資産組入支出 (=再資源化預託金等のうち、実際に資金管理センターが入金を受け、特定資産として組み入れたものと再資源化預託金等特定資産運用収入の合計額)	86,356,000	台数 (補足説明4.参照) 新車購入時預託 約100万台 継続検査時等預託 約260万台 引取時預託 約70万台 合計 約430万台 平均単価 (補足説明2.参照) ASR・エアバッグ類・フロン類合計 2万円 装備率 (補足説明2.参照) エアバッグ装備率 100% エアコン装備率 100% 情報管理料金 1台当たり 125円	32,126,977	台数 (補足説明4.参照) 新車購入時預託 約90万台 継続検査時等預託 約180万台 引取時預託 約70万台 合計 約340万台 平均単価 (補足説明2.参照) ASR 約6,300円(約6,300円) エアバッグ類 約2,200円(約1,200円) フロン類 約2,100円(約2,000円) 合計 約10,600円(約9,500円) 括弧表示は未装着車を含む単純平均単価 装備率 (補足説明2.参照) エアバッグ装備率 約53% エアコン装備率 約92% 情報管理料金 1台当たり 130円	54,229,023